



システム共同化でコスト削減／ フレイルチェックで健康都市を

蛇川 浩議員 (市議会公明党)

情報システムの最適化と広域・共同化で行政コスト大幅削減を

質問 ①パッケージソフト化からさらに一歩進め各システムの広域での共同化、クラウド化を進めるべきだが検討実績は。

②各システムの広域・共同化によるメリット、デメリットは。

市長 ①近隣5市で構成する多摩北部都市広域行政協議会で共同化を協議した。今後、新たな方策が生じる可能性もあるため国や民間の動向等を注視する。

②メリットは、共同利用による割増効果で、デメリットは、現在の市民サービスが変更となる可能性があることなどである。



資源物処理施設建設／障害者雇用と精神障害者施策の充実

橋本久雄議員 (緑の党こだいら)

市民の声を無視した3市共同資源物処理施設新設の影響は

質問 ①分別収集の対象となつていく硬質プラスチックの5割が資源化されず、ごみとして焼却されている現状への対策は。

②施設はつくらず、ペットボトルと容器包装プラスチックを今までどおり小平市リサイクルセンターで処理した場合、どういう問題が発生するか。

市長 ①イベント等での3Rの理解促進、パンフレットの全戸配布等による分別の徹底について周知に努めてきた。

②3市の安定的廃棄物処理体制が構築できない可能性がある。高木の維持管理のあり方



小平市の農業、農地について／ 小平市の交通安全対策について

川里春治議員 (政和会)

質問 ①都市農地保全支援プロジェクト事業について、補助金の交付状況と今後の考えは。

②体験農園を初めとした観光農業に対する取り組み状況は。

市長 ①27年度は防薬シャッター設置補助、28年度は防災兼用農業用井戸設置補助を交付した。今後は、農地の持つ多面的機能

を發揮し、市内農地の保全を図るための重要な事業であることから、農家に対し周知していく。

②体験農園開設時に補助を行うほか、観光農業協会作成の直売所マップに体験農園等が



小川駅西口駅前の整備は小平らしく／市民が集う場をふやそう

日向美砂子議員 (生活者ネットワーク)

小川駅西口の駅前整備をよりよいものにしていくために

質問 ①高層ビルありきでない方法の可能性はあるか。また、再開発ビルの高さ抑制のために市が行ったことは。

②市民への周知や意見聴取、合意形成はどうか。

市長 ①駅前広場が整備されていないことに加え、老朽化した建築物が密集し、オープンスペースも確保されておらず、新たなぎわいの拠点づくりも期待されているため、都市計画道路整備だけでは課題解決は難しい。工事費高騰による計画案見直しの際に、市民広場の創出を提案



保護者の教育負担の現状／ 給食費の無償化

吉瀬恵美子議員 (日本共産党小平市議員団)

義務教育にかかると教育費の軽減について

質問 ①市立の小・中学校において、授業料と教科書以外の保護者の年間の負担額は。

②義務教育にかかる保護者負担の現状への受けとめと対策は。

教育長 ①おむねの平均額は小学校で、1年生が7万8千8百円、2年生から5年生が5万6千8百円、6年生が8万3千7百円。中学校で、1年生が17万7千円、2年生が7万3千2百円、3年生が14万3千7百円。

②ノートや鉛筆等個人で所有し使用するもの、学校給食費や修学旅行費等個人に帰するもの



女性の就労を応援／子どもの権利を保障する保育について

さとう悦子議員 (生活者ネットワーク)

女性の就労を応援するために

質問 ①男女共同参画推進条例の認知度が2015年現在で3・4%だが、上げるためにどうするか。

②男性が家庭や地域で活躍するための施策は。

③仕事と家庭両立の意識と環境づくりのための取り組みは。

市長 ①小平アクティブプラン21概要版を配布し、ホームページ等で周知している。



誰もが暮らしやすいまちづくりの現実に向けて

平野ひろみ議員 (生活者ネットワーク)

質問 ①地域包括ケアシステムを支える認知症施策を担う人材の資質向上のためできることは。

②介護者支援の検証と課題は。

③一人一人の生活を支える包括的生活支援についての考えは。

市長 ①認知症支援リーダーと認知症サポーターの養成講座の実施及びそのフォローアップにより資質の向上に努めていく。



誰もが暮らしやすいまちづくり／ 障害者差別解消法に基づいて

平野ひろみ議員 (生活者ネットワーク)

質問 ①地域包括ケアシステムを支える認知症施策を担う人材の資質向上のためできることは。

②介護者支援の検証と課題は。

③一人一人の生活を支える包括的生活支援についての考えは。

市長 ①認知症支援リーダーと認知症サポーターの養成講座の実施及びそのフォローアップにより資質の向上に努めていく。



▲観光農業への取り組み (体験農園)

▼体験農園のパンフレット

こだいらの農業体験ファーム

感動のタネを蒔きませんか？

特徴

- 自然の恵みと農作業の楽しさを子どもに伝えることができます！
- 小・中学生、家族は遠慮なく参加！
- 農作業、予約のみで対応します！
- 農産物の収穫や販売、自分たちの手で育てます！
- 体験型など、農と食の交流イベントも実施します！